

質問回答

NO.	質問	回答
1	1-イ ヒアリング資料について、現状想定されているイメージ等がございましたら、ご教示いただけますか。	ヒアリング資料は、ヒアリングを受けられる方が、その趣旨を理解しやすい資料であることが必要ですが、現在のところ特に具体的なイメージはございません。
2	1-ロ 地域ワークショップの参加者募集はどのように考えればよろしいでしょうか。広告等を打つ必要はございますか。	ワークショップの参加者募集については、各モデル地域の取組主体と相談しながら、必要に応じて教育機関や関連機関等に声かけを行っていくことを想定しています。ワークショップ参加者が、継続的にその地域と関わっていくことが重要であると考えておりますので、そうした目的で参加者を募集する際に必要があるということであれば、広告等もご提案いただければと考えております。
3	1-ロおよび（2） 若年層をターゲットにされている理由をご教示いただけますか。 また、若年層とは具体的に何歳くらいの層を想定されておりますか。	地域の防災を担う人材の高齢化が課題となっているため、防災に関心を持って将来の地域の防災を担っていただく人材を増やす観点から、若年層をターゲットにしております。 ターゲットとする層は、モデル地域のニーズによって異なりますと考えますが、想定としては、高校生・大学生・20~30代の社会人、子育て世代（小学生・中学生の子供を含む）などを考えております。
4	1-ハ アンケートについて想定されているボリュームがあれば、ご教示いただけますか。	アンケートのボリュームについては、具体的には想定しておりませんが、1-ハで求めている調査において必要な情報を得るために十分なボリュームが必要と考えております。
5	1-ハ アンケート取得エリアは、1-イの5地域＋セミナーの計6地域 想定でよろしいですか。	アンケートについては、1-イの5地域と2のセミナーを想定しています。